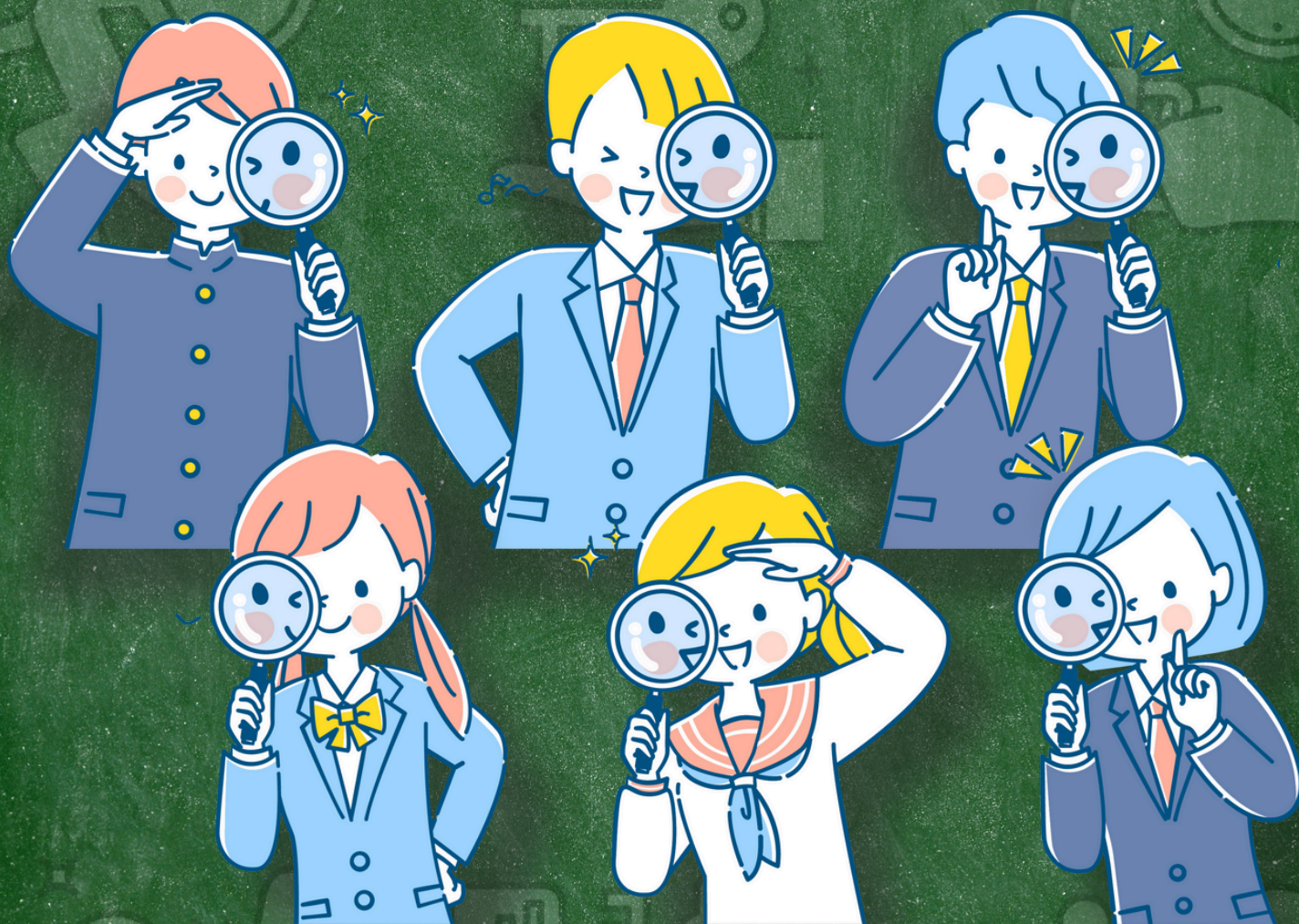


京築みらい塾

令和6年度京築地域未来の地域リーダー育成プログラム活動報告書



主催：京築地域未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会
(行橋市、豊前市、苅田町、みやこ町、吉富町、上毛町、築上町、福岡県) 後援：福岡県教育委員会

京築みらい塾とは

京築地域（行橋市、豊前市、苅田町、みやこ町、吉富町、上毛町、築上町）の中学生を対象に、地域に縁のある著名人等による講義や体験活動、他校の生徒とのグループワークを通じて、志を高め合いながらリーダーとなるための心構えを学び、将来、様々な分野で活躍する「リーダー」の育成を目指した合宿型のプログラムです。

1 主催

京築地域未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会
(行橋市、豊前市、苅田町、みやこ町、吉富町、上毛町、築上町、福岡県)

2 後援

福岡県教育委員会

3 開催日程

令和6年11月9日（土）～10日（日）
令和6年11月30日（土）～12月1日（日）

4 主な会場

サン・グレートみやこ
みやこ町勝山体育館
吉富フォーユー会館
九州大学伊都キャンパス

5 参加状況

募集対象：京築地域の中学生
参加生徒数：25名



＼ 活動の様子はコチラ ＼

〈 本編 〉

〈 ショート版 〉

講師紹介

井手 浩 氏（一般社団法人久留米市総合型SC桜花台クラブ クラブマネージャー）

井手建装代表。一社）久留米市総合型SC桜花台クラブマネージャー、社会福祉法人第二北野学園スポーツ支援員。（公認）障害者スポーツ指導員初級取得。県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会副会長、久留米市スポーツ審議委員会委員なども務める。



久本 成美 氏（NPO法人しいだコミュニティ倶楽部 理事長）

上町出身。昭和50年に椎田町（現在、築上町）体育指導委員に任命されて以来、地域スポーツの普及、促進に尽力し文部科学大臣表彰を始めとした多くの表彰を受ける。総合型地域スポーツクラブの設立、運営に取り組み、組織の充実・生涯スポーツの普及に取り組む一方、障害者スポーツの教室や講習会を開催する等、スポーツ環境づくりに貢献している。



寺澤 一光 氏（大国段ボール工業株式会社 代表取締役 会長）

慶応義塾大学 商学部卒業、1983年大国段ボール工業株式会社に入社、1987年代表取締役に就任し、2012年個人向け商品の開発を始める。その後2013年、2019年、2023年にグッドデザイン賞受賞し、2020年はばたく中小企業300社に選定される。



松岡 麻利子 氏（福岡県地球温暖化防止活動推進員・苅田町環境審議委員）

北九州市門司区出身、福岡教育大学学士課程修了、東筑紫短大中等部非常勤講師、北九州市立早鞆中学校常勤講師、福岡県立門司高等学校定時制非常勤講師勤務を経て、苅田町へ活動に移す。2001年より環境活動を始め、2011年に福岡県地球温暖化防止活動推進員に就任し、2012年から苅田町環境審議会委員に就任する。2014年より「殿川とホテルを守る会」を立ち上げ、会長を務め、地域の環境活動に取り組んでいる。



プーンシリ・ナタオーン 氏（上毛町教育委員会国際交流員 CIR）

タイ王国・バンコク都出身。タイの名門校タマサート大学日本語学科を最優秀の成績で卒業後、タイと日本を拠点に通訳・翻訳者として多岐にわたる分野で活躍。2021年より福岡県上毛町教育委員会の国際交流員として、タイと日本の友好促進や地域の国際理解を深める活動に尽力。文化と人をつなぐ架け橋として、多文化共生の未来を見据えて取り組んでいる。



林 博徳 氏（九州大学 工学研究院附属環境工学研究教育センター准教授）

福岡県古賀市出身、大根川、西郷川流域で虫採りや魚採りをして幼少期を過ごす。九州大学で学位（博士（工学））取得後、九州大学大学院工学研究院附属循環型社会システム工学研究センター研究員、九州大学助教を経て、2019年より現職。専門は河川工学。大学では、流域環境の健全化にむけた治水技術や自然再生手法に関する研究、多様な主体と協働で行う川づくりにおける合意形成手法に関する研究、子供たちに川や自然環境の魅力を伝える環境教育活動などに従事（令和5年度工学教育賞文部科学大臣賞受賞）。主に九州をフィールドとして、市民・行政・大学をはじめとする様々な主体で共創する川づくり活動の実践に取り組む。主な関連プロジェクトに、福岡県福津市上西郷川の多自然川づくり、佐賀県松浦川アザメの瀬の自然再生事業などがある（いずれも土木学会デザイン賞最優秀賞受賞）。



コーディネーター紹介

深山翔平 氏（一般社団法人TJC教育サポート 理事長）

福岡県久留米市出身。教育学、特別支援教育を専攻。世界一周、小学校教員を経て、子ども・保護者・企業を「教育の力」でサポートし、全ての人がよりよい人間関係をつくり、よりよく過ごすことが出来るように、2019年に一般社団法人TJC教育サポートを創設。子どもたちには自然体験キャンプやマネーキャンプなど様々なコンセプトの体験活動を提供。オンラインでは子ども向けにリーダーシップ教育や目標達成メソッドを教える講座だけでなく、保護者向けの自立教育プログラム「家庭教育の学校」を主宰し、全国から100名以上の参加者が集まっている。また、企業向けの人財コンサルタントとしても研修・コンサルティングを行い、社員が自ら動く「自立型組織」の構築に多数貢献している。



活動報告

1日目



Schedule

9:30 ~ 開講式
10:00 ~ オリエンテーション
10:30 ~ 仲間づくり
講義
12:00 ~ 昼食
12:45 ~ 講義・体験
15:30 ~ 講義
17:00 ~ グループワーク
18:20 ~ 移動
19:00 ~ 夕食
20:00 ~ 個人研修
21:00 ~ 就寝

11月19日(土)に「京築みらい塾」がスタートしました。参加生徒は緊張した面持ちで、会場のサン・グレートみやこに到着しました。開講式では、京築地域未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会の龍会長(福岡県青少年育成課企画監)より挨拶があり、続いて来賓の各市町教育長と記念撮影を行いました。

式典後、参加者同士の親睦を深めるため、アイスブレイクを兼ねた仲間づくりとオリエンテーションを実施しました。その後、深山翔平氏(一般社団法人TJC教育サポート)による「リーダーシップ論」の講義があり、地域リーダーとしての心構えや基本姿勢について学びました。その後、昼食を挟みながら、グループでの交流を楽しみました。



午後の活動では、「車いすバスケットを体験してみよう」をテーマに、井手浩氏(一般社団法人久留米市総合型SC桜花台クラブ)と久本成美氏(NPO法人しいだコミュニティ倶楽部)の講義と車いすバスケットを体験しました。自分の枠だけにとらわれずに考えれば、障がいのある人もない人も みんなで楽しむことができることを学びました。次は、寺澤一光氏(大国段ボール工業株式会社)の「京築から世界へ」というテーマの講義でした。段ボールハンガーやおもちゃなど新しいアイデアを考え、チャレンジしていくことの大切さを学びました。その後、グループワークで課題の深掘りと課題解決のアイデアを話し合いました。

夕方にはAZホテル築上店へ移動し、夕食後、個人研修を通じて初日の学びを整理しました。

2日目



Schedule

6:30 ~ 起床・朝食
8:00 ~ 移動
8:30 ~ グループワーク
10:40 ~ 講義
12:00 ~ 昼食
13:00 ~ 講義
14:30 ~ グループワーク
17:00 ~ 解散

2日目は、1日目のグループワークの内容を基に、課題解決のアイデアをさらに絞り込み、具体的な取り組み内容を検討しました。最終日の発表に向け、各グループが活発に議論を進めました。午前中の講義では、松岡麻利子氏(福岡県地球温暖化防止活動推進員・荻田町環境審議委員)より、「地球と私達の生活をまもるために【今できることをできる時にしよう!】」というテーマの講義でした。「殿川とホテルを守る会」の取り組みを通じて、市民が声をあげて協力することの大切さを学び、また環境問題への意識を深めることができました。

昼食を挟んだ午後には、プーンシリ・ナタオーン氏(上毛町教育委員会国際交流員)による「もっと知りタイ」と題した講義が行われました。タイのことを中心に学びつつも、国際交流やインバウンドについて考える機会になりました。

その後のグループワークでは、各講師の講義内容を振り返り、それを課題解決の具体策に反映させる作業を行いました。生徒たちは、真剣な表情で議論し、着実に成果を形にしていました。



九州大学伊都キャンパスに移動し、林博徳氏（九州大学工学研究院附属環境工学研究教育センター准教授）より「川づくり、自然環境の取組」をテーマとした講義を受講しました。講義では、自然環境の魅力や川の生態系について具体的な事例を通じて学びました。また住民同士と十分に話し合うことで生態系も残しながら、同時に防災もしていくことができることを学び、自然環境の重要性に触れることができました。



Schedule

9:00 ~ 移動
11:30 ~ 講義
12:30 ~ 昼食
ワークショップ
13:30 ~ キャンパスツアー
14:50 ~ 移動
17:30 ~ グループワーク
18:30 ~ 移動
19:00 ~ 夕食
20:00 ~ 個人研修
21:00 ~ 就寝

昼食時には九州大学の学生と大学生活や将来の夢について意見交換を行いました。その後、九州大学の学生にアテンドいただき、キャンパスツアーで九州大学の広大な施設を見学しました。大学生との交流は、参加生徒にとって進学や将来設計を考える貴重な刺激となりました。その後は吉富フォーユー会館に移動し、これまでの講義や体験をもとに、発表内容をグループでまとめる作業を行いました。夜はAZホテル吉富店に移動し、夕食後も発表に向けて個人研修を行いました。生徒たちは集中して取り組み、発表準備をしていきました。



Schedule

6:30 ~ 起床・朝食
8:00 ~ 移動
8:30 ~ グループワーク
12:00 ~ 昼食
13:00 ~ 発表準備
14:00 ~ グループ発表
16:00 ~ 閉講式
17:00 ~ 解散



最終日は、深山翔平氏（一般社団法人TJC教育サポート）のファシリテーションでグループワークが進んでいきました。その後各グループが「私たちが目指す未来の京築地域」というテーマで発表を行いました。4日間の体験や学びを基に、PCとプロジェクターを活用しながら成果をプレゼンテーション形式で共有しました。

発表では、グループのメンバーがそれぞれ役割を担い、協力して準備した内容を堂々と発表しました。また、個人発表ではプログラムを通じて感じたことや、今後自分たちが取り組みたいことについて意見を述べ、真剣に語る姿が印象的でした。見学に訪れた保護者や関係者からの質問にも、丁寧に応じる姿勢が見られ、活発な質疑応答が行われました。発表後の閉講式では、会長より参加者全員に修了証が授与され、吉富町若山誠一郎教育長が代表挨拶を行いました。生徒たちは大きな拍手の中でプログラムを終了し、達成感に満ちた表情を見せていました。

アンケート結果

参加生徒がプログラムを通してどのような力を向上させることができたかを把握するため、以下の通りアンケートを実施しました。

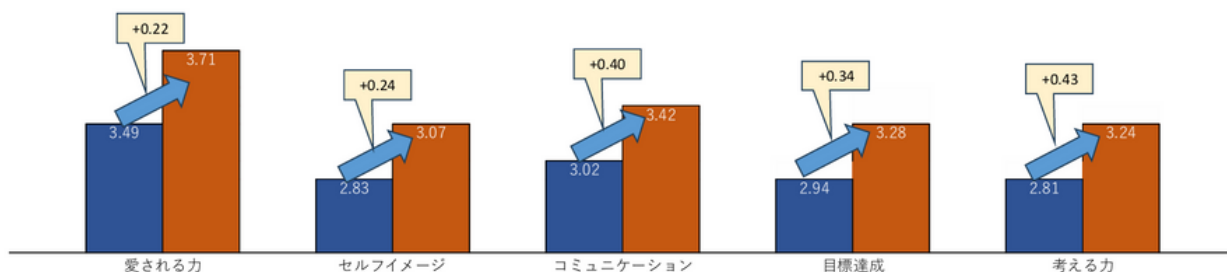
アンケートの実施方法

- プログラムの初日と最終日に、同様の質問に回答してもらった。
- 5項目（愛される力、セルフイメージ、コミュニケーション、目標達成、考える力）について、参加前後で向上するかどうか調べた。
- 1つの項目に対し、4つの質問で構成し、1～4の4段階で評価

質問例

- ①愛される力 何かしてもらったらすぐに「ありがとう」と感謝の言葉を伝える
- ②セルフイメージ 自分の長所や強みについてよく分かっている
- ③コミュニケーション 話を聞くときは、目を見て聞き、意識してうなずいて聞いている
- ④目標達成 自分では難しいことは、積極的に誰かに頼ることができる
- ⑤考える力 新しい企画やアイデアを生み出すことが好きだ

アンケート結果



グループワークの様子



参加生徒の声



私達が普段過ごしている生活の中にも課題から解決に向けて作られた物が多くあるということが分かった。



今回のプログラムで、講義をしてくださった方々は京築のために活動をしていたり自分の好きなものを守るために活動をしたりしていて本当にすごいと思った。私も大人になったら自分の好きなことをしたり、時には守るために活動を行いたい。



リーダーの大切さはよくわかった。そして、あきらめなければいつか報われるということを経験してすごく良かった。



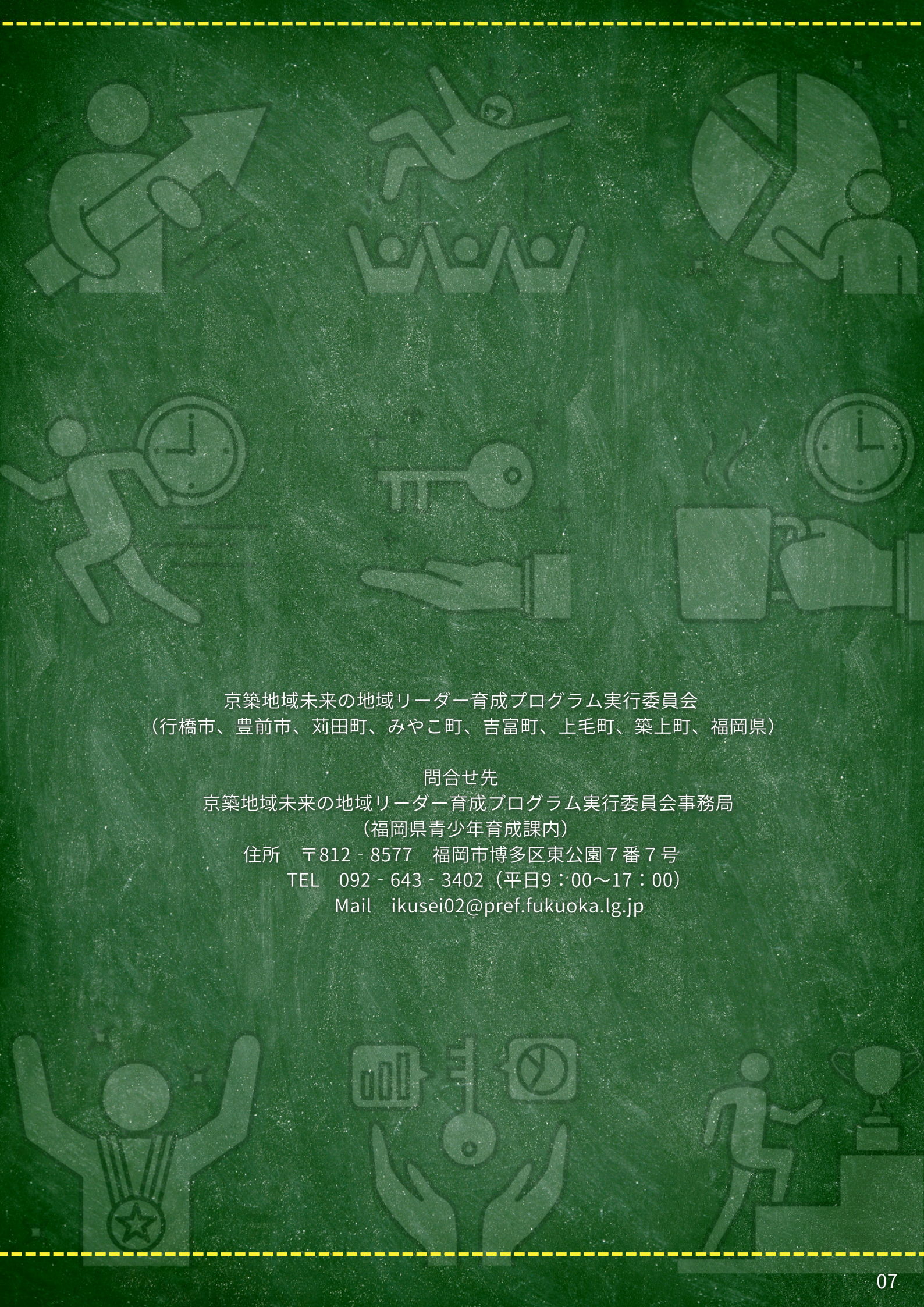
どんなに前例がないことでも色々調べたり、いろんな人に聞いたりしてめげずにがんばれば成功につながることもあるということが分かった。



新しいことに挑戦することは難しいけどあきらめずにやると楽しいということを学んだ。PM理論を時と場合で使い分けるリーダーが良い。また、自分の不得意なことを伸ばせたらよかった。



車いすバスケットでは実際にやってみて楽しかったし、障がい者の気持ちを考える事ができた。九大のバスツアーではいろいろなところを回り、より深められた。



京築地域未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会
(行橋市、豊前市、荻田町、みやこ町、吉富町、上毛町、築上町、福岡県)

問合せ先

京築地域未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会事務局
(福岡県青少年育成課内)

住所 〒812 - 8577 福岡市博多区東公園 7 番 7 号

TEL 092 - 643 - 3402 (平日9 : 00~17 : 00)

Mail ikusei02@pref.fukuoka.lg.jp